

たかす町 社協だより

2026年
10月号
No. 204

ダイソー
DAISO

ウェスタン川端店



写真

こども体験教室～ボランティア編～と
買い物ツアーの合同開催の様子

Pick
up!

①・② ページ

赤い羽根共同募金運動特集

③・④ ページ

見守り活動に関する特集

最終ページ

あったかステーションのページ

令和 8年 10月 5日発行

『赤い羽根共同募金』運動について

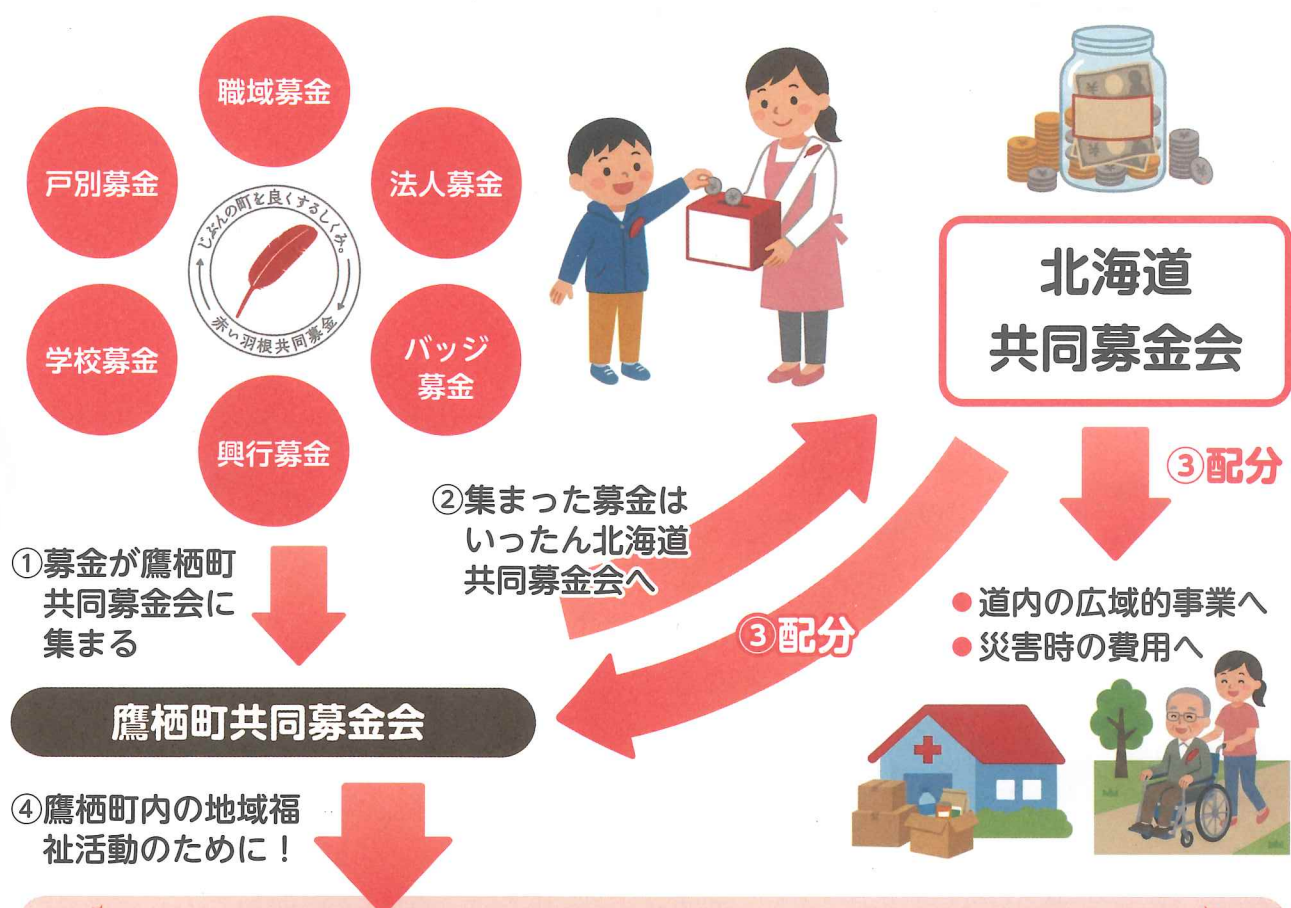
赤い羽根共同募金は、一般的な寄付募集とは異なり社会福祉法に位置付けられた募金運動です。共同募金を実施できるのは法律に基づく共同募金会であり、北海道では北海道共同募金会がその役割を担っています。鷹栖町で行っている募金活動も、この仕組みの中で実施されています。

また、共同募金運動は、厚生労働大臣が定める期間に実施することが法律で定められており、毎年10月1日から翌年3月31日までが共同募金運動の期間となっています。

鷹栖町共同募金会が集めた浄財は北海道共同募金会にいったん全額集約され、資金使途を明確にし申請することで、翌年に北海道共同募金会より鷹栖町共同募金会に配分という形で戻ってきます。

なお、鷹栖町共同募金会が集めた浄財はすべて鷹栖町だけに戻ってくる仕組みではありません。北海道内の広域的な福祉活動などを支えるため、上川管内の福祉活動などを支えるため、大規模災害における準備金などにも使われます。

これらの活動費については人口割りにより分担金が定められており、募金を集めるほど地元に配分される額が大きくなるよう設定されています。



★鷹栖町共同募金会に寄せられた募金はどのように使われるのか

令和7年度 一般募金収入 740,447円

※740,447円の使い道

●北海道内の広域的な福祉活動に活用される	296,000円
●上川管内の福祉活動に活用される	30,000円
●上川管内の福祉活動に活用される際の経費の分担金	11,000円
●鷹栖町内の地域福祉活動に活用される	385,000円
●鷹栖町内の地域福祉活動に活用される際の経費	18,447円

令和7年度 共同募金実績

募金方法	募 金 額
戸別募金(各町内会より)	576,100円
職域募金	16,278円
興行募金	26,569円
個人募金	10,000円
バッジ募金	111,500円
合 計 額	740,447円



令和8年度 配分額

事業執行者名	配 分 額
鷹栖青年会	40,000円
たかすふまねっと一歩いっぽ	50,000円
鷹栖町老人会	20,000円
多胎育児サークルハッピーキッズ旭川支部	30,000円
ぽかぽかハートのつどい	50,000円
鷹栖町婦人ボランティアクラブ	30,000円
たかすぶっくクラブ	20,000円
鷹栖町民生委員児童委員協議会	30,000円
おはなしの会キタキタ	15,000円
鷹栖寺子屋サポート隊	50,000円
鷹栖中学校	30,000円
旭川けん玉サークル	20,000円
合 計 額	385,000円

※北野寺子屋サポート隊130,000円と愛びすけっと120,000円の配分については、共同募金の財源がなく法人運営費より助成します。

令和8年度も、10月1日より共同募金運動が始まりました。北海道共同募金会において多額の使途不明金の発生という不祥事により、預けていた浄財が失われてしまいましたが、中央共同募金会の支援によって予定どおり鷹栖町に配分されております。

北海道共同募金会は、ガバナンス意識の改善、組織体制の見直しと強化、会計業務の適正化、監督機能の強化を図り、信頼回復に努めているところではありますが、一度失った信頼を回復するためには相当の時間を有することと思います。

しかしながら、本活動は鷹栖町共同募金会単独では行えないことと、配分を待つ多くの福祉団体の存在があり、募金活動の停滞は鷹栖町内の福祉活動の停滞を招くことから、鷹栖町共同募金会においても今年度の募金運動を行うことに致しました。

鷹栖町内における福祉活動への支援に関しては、共同募金以外に福祉活動への寄付という方法もありますので、そちらを希望される場合には、鷹栖町社会福祉協議会（Tel.87-4451 担当者：梅澤）までお電話いただくと幸いです。何卒、ご理解賜りたくお願い申し上げます。

『見守る』が 町を支える

～人はひとりでは生きられない～

私たちは、誰かに支えられ誰かを支えながら暮らしています。「おはよう」「元気だった？」そんな何気ない声かけも、大切な見守りです。

『見守り』とは

見守りとは、特別なことをすることではありません。近所で声をかける。顔を合わせる。いつもと違うことに気づく。そして、困っている人がいたら、必要な支援につなげる。

そんな日々の小さな関わりの積み重ねが、安心して暮らせる地域をつくれます。

鷹栖町内で行われている『見守り』とは

①民生委員児童委員による見守り

民生委員は地域の身近な相談相手として、全世代の町民を対象に、訪問による状況の確認や必要に応じて様々な相談、援助活動を行っています。



②福祉委員による見守り

福祉委員は地域の身近な存在として、町内会の気になる方を日頃から見守り、年3回の訪問品配布を通して交流や安否確認を行っています。



③老人会友愛活動員による見守り

定例会の様子



おしゃべりしながら、
お菓子やお茶を楽しんでいます

④ふれあい訪問員による見守り

月1回の訪問の様子



お知らせを届け、
お話し相手になります

⑤「たかすの灯火」による見守り

新事業

「たかすの灯火」(見守り安心サービス事業)

ご自宅に専用の LED 電球を設置し、電球の ON・OFF を確認することで、毎日の暮らしを見守ります。

対 象 65 歳以上の一人暮らしの方、
その他見守りが必要な方

利用料 月額 500 円

設 置 今お使いの電球を交換するだけ

設置場所 トイレ・洗面所・食卓など、
毎日 1 回は点灯する場所



ここが
ポイント!

☒ 離れて暮らすご家族
も安心。

☒ 月額 500 円で、
毎日の見守りをサポートします。



もし、24 時間 ON・OFF がなかったら？

①
**異常を
検知**

②
事前に登録した
連絡先へ
通知

③
社協職員が
電話で確認

④
必要に応じて
訪問して
安否を確認

ご不明な点がございましたら、お問い合わせください！

社協 ☎ 0166-87-4451

あなたにもできる『見守り』とは

特別なことじゃなくていい。今日からできる「見守り」があります。

①「おはよう」の一言

あいさつは、地域の大切なコミュニケーション。
顔を合わせることで、「いつもと違う」に気づく
きっかけになります。

② いつもと違うな、と思ったら

「最近、姿を見ないな」「新聞が何日もたまって
いる」「いつもと様子が違う」そんな小さな気づ
きも、大切な見守りです。

③ 気づいたら、一人で抱え込まない

「自分が何とかしなければ」と思わなくて大丈夫。気になることがあれば、家族や近所の人、民生委員児童
委員、福祉委員、生活福祉相談センター、地域包括支援センター、社協などに相談してください。

気づく人がいる。つなぐ人がいる。支える人がいる。
それが鷹栖町の「見守り」です。

使わなくなったスキー用具、おうちに眠っていませんか？

スキーリサイクル事業

＊スキーリサイクル事業ってなに？

お子さんの成長などにより、使われなくなったスキー用具（スキー板、靴、ストック）をスキー授業等でスキー用具を必要としている人に届ける事業。使わなくなったものを、必要としている人へ。この事業での収益は、町のイベントで活用しています。



＊スキーリサイクル事業の流れ

①使わなくなったスキー用具を寄付

使わなくなったスキー用具をあったかステーションに寄付。サンホールはぴねすへお持ちください。リサイクル料は一切かかりません。

※スキー板については先端が丸いカービングタイプを募集しています。

※リサイクルが難しいと判断した用具は引き取りできない場合がありますので、ご了承ください。

②スキー用具が欲しい人へリサイクル

①【スキーリサイクル専用 WEB サイト】から、ご希望の商品を選び、日時等を予約。

②指定した日時に、希望商品を「サンホールはぴねす」で受け取り。支払い。



＊スキーリサイクル事業での収益は？

この事業の収益は、夏休みと冬休みに鷹栖町ボランティアセンターが主催している小学生向けの体験型イベント「こども体験教室」の運営費として活用しています。

昨年度は、地域の大人や学生を講師として呼んで、ドローンやプログラミングなど様々な体験教室を行ったり、高校生と一緒に雪で巨大迷路を作ったりしました！



「もう使わないけど、捨てるのはもったいない」 そんなスキー用具がありましたら、ご提供ください！

お問い合わせ・ご予約

TEL : 0166-87-2345 ✉ : atk2354@iaa.itkeeper.ne.jp

【スキーリサイクル事業専用 WEB サイト】

HP : <https://hotwakuwork4510.wixsite.com/ski-recycling>

スマホから
も予約可





あなたのデザインが、2027年版 鷹栖町限定
「赤い羽根共同募金」バッジに！



赤い羽根共同募金バッジデザイン画コンテスト

デザイン大募集！

令和9年度の鷹栖町限定 募金バッジのデザインを募集します。鷹栖町にお住まいの方、または町内でお勤めの方なら、どなたでもご応募いただけます。日々感じている鷹栖町の魅力を、ちいさなバッジに込めてみませんか？

デザインのポイント

- 赤い羽根共同募金のイメージに合っていること
- 鷹栖町に関わるモチーフが入っていること
- 「赤い羽根」と「西暦または元号(例：2027/令和9)」が入っていること
- バッジ実寸(縦・横 約20mm)でも見やすく、わかりやすいこと
- 未発表のオリジナル作品で、他者の知的財産権を侵害していないこと

応募方法

任意のA4白色用紙に、

①彩色したデザイン ②氏名 ③住所 ④電話番号 ⑤職業・学校名 をご記入の上、鷹栖町社会福祉協議会の窓口までご持参ください。

賞・特典

- 特選(採用作品)：賞金 10,000円
- 応募者の中から抽選で5名様に、鷹栖町商品券 1,000円分をプレゼント
- ※当選の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます

著作権・その他

- 採用作品の著作権は主催者に帰属します
- バッジ制作の都合により、若干のデザイン修正を行う場合があります
- 個人情報とは、作品の審査・発表・結果通知および本会主催事業のご案内のみに使用し、他の目的には使用しません
- 入選者情報は、主催者のFacebookや広報誌等に掲載する場合があります

応募締切 12/11 金

応募先・お問い合わせ

鷹栖町社会福祉協議会 鷹栖町南1条3丁目2-1 サンホールはぴねす2F TEL：87-4451

みなさまの思いがつまった素敵なデザインを、心よりお待ちしております！

あたたかいご寄付 ありがとうございました

●香典返しご寄付

阿戸洋子さん
石山悦子さん

浅香祐子さん
高田恵美子さん



あったかステーション

～「できる」と「困った」をつなぐ地域の窓口～

1 あなたの「できる」を地域の力に

「あったかステーション」は、これまでのシルバー人材センターの仕組みを引き継ぎながら、年齢の枠を取り払い、より幅広い世代の方が登録・活動できる場としてスタートしました。

現在では、20代から幅広い年代の方が登録しています。

「空いた時間を活用したい」「自分の経験や得意なことを生かしたい」「誰かの役に立ちたい」そんな一人ひとりの思いを、地域のさまざまな仕事や活動につないでいくのが、「あったかステーション」です。

世代を超えて人と人がつながり、それぞれの「できること」を生かして地域を支える。そんな、あたたかいつながりを大切にしています。

2 「できる」をお仕事につなげよう

Step.1

登録する

「あったかステーション」に登録します。
年齢や経験を問わず、ご自身の「できること」を登録できます。



Step.2

お仕事をご案内

登録内容やご希望に応じて、条件に合ったお仕事をご案内します。



Step.3

内容・条件を確認

依頼内容や条件を確認し、合意いただいたうえでお仕事をお願いします。



Step.4

個人委託でお仕事

登録者は個人事業主として、依頼された仕事を行います。
会社員のような雇用契約ではなく、労働関係にはありません。ご自身の都合に合わせて、無理のない範囲で活動できます。

3 「ちょっと困った」を、あったかに

Step.1

まずは
ご相談ください

Step.2

ご依頼内容を
確認

Step.3

条件に合う登録者を
ご紹介

Step.4

内容・条件を確認して
お仕事開始

こんなご依頼に、こんなお仕事でお応えしています

- 畑のお手入れ 畑おこし(テラー)
- 庭のお手入れ 草刈り・草取り
- 庭木のお手入れ 剪定・伐採(木の高さによります)、冬囲い
- お掃除 ご家庭などの清掃
- 不用品の整理 ゴミ処理場への搬出
- 雪のお困りごと 除雪

プロの専門サービスではありません。だからこそ、「できる人が、できることを、できる範囲で」。
地域の皆さまの身近な「ちょっと困った」に寄り添い、お手伝いしています。

冬に向けて、除雪のお仕事をしていただける方の登録を募集しています!

これから迎える冬に備え、除雪のお仕事をしていただける方を募集しています。

全ての問合せ あったかステーション

☎ 電話 87-2354

✉ メール atk2354@iaa.itkeeper.ne.jp

